

群馬大学大学院保健学研究科看護学講座

地域完結型看護実践指導者養成プログラム 〈履修証明プログラム〉

Q&A

【出願資格について】

Q1：大学を卒業していませんが、出願は可能ですか。

A1：学士の学位を持たない（取得見込みは除く）方でも、出願前に審査を受けて資格が認められれば出願ができます。就業歴または研究業績によって、大学卒業と同等の資格があるかどうかを判定いたします。審査基準については、募集要項をご参照ください。

Q2：看護副師長（主任）の経験はありますが研究業績はありません。出願できますか。

A2：大学を卒業していれば出願できます。大学を卒業していない方で、かつ研究業績がない方については、就業歴（実習指導歴を含む）によって出願資格の判定をいたしますので、出願前に審査を受けてください。出願資格基準については、募集要項をご参照ください。

【費用について】

Q3：1年間あたり、どのくらいの費用が必要ですか。

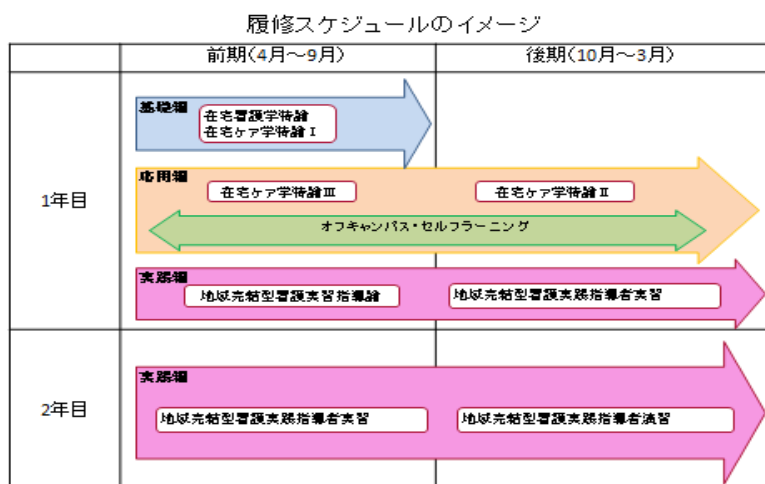
A3：文部科学省の「課題解決型高度医療人材養成プログラム」として行っている間は検定料、講習料は無料です（平成31年度から検定料・講習料がかかります）。ただし、オフキャンパス・セルフラーニング、学会・研修会の参加費（参加する学会・研修により費用が異なります）や実習のための交通費（場所により異なります）、実習保険加入料（任意）、テキスト代、文献複写代などは履修生の負担になります。

* 課題解決型高度医療人材養成プログラム終了後の検定料は 9,800 円、講習料は 60,000 円となります。

【履修モデルについて】

Q4：履修証明をもらうのには、どのくらいの期間がかかりますか。また、1週間、1ヶ月あたり、どのくらいの日数、大学に通う必要がありますか。

A4：履修生は、2年から3年をかけて120時間以上を履修します。多彩な教育方法・科目がありますので、仕事との兼ね合いを考えて履修を行ってください。イメージしていただくために、以下に2年間の履修モデルをお示しします。



※講義は1回あたり1.5時間です。
2回連続で開講するなど、受講負担の軽減を図っています。
30時間＝1.5時間×20回ですが、1日で2回分を続けて受講できる日もあります。

【履修・教育方法・教育環境について】

Q5：仕事の都合などにより、講義に遅れる可能性があります。どの程度まで遅刻として認められるのでしょうか。

A5：遅刻扱いは、教育内容によりますので、各担当教員におたずねください。仕事と学業との両立をはかるためにも、無理のない時間帯の講義履修を計画されてください。

Q6：実習は、どのように日程が組まれるのでしょうか。続けて仕事を1週間休むことなどが必要なのでしょうか。

A6：履修生の職場の種類や状況によって、1週間続けて休みをとれるところもあれば、そうでないところもあると思います。履修生と実習受け入れ先と相談しながら、実習のスケジュールを組み立てていきます。

Q7：どのような教育方法をとっていますか。

A7：仕事と学業が両立しやすいようオフキャンパス・セルフラーニング、メール指導、OJT（On-the-Job Training：職場内教育）、夜間・土日の講義で行います。

Q8：大学の図書館は休みの日や夜も利用できますか。

A8：学生証が発行されますので、図書館利用は可能です。休日や夜間の利用も可能ですが、手続きが必要となります。詳細は、入学後にご説明します。

Q9：学割運賃の申請はできますか。

A9：学割証は発行できません。

【相談事・困ったとき】

Q10：困ったことなどが起こった場合、どなたに相談したらよいのでしょうか。

A10：事務手続きに関することは大学院係が、学習内容や履修方法についてはプログラム担当教員が、各履修生の状況に応じて、ご相談に対応致します。

Q11：通学時の駐車場はどこを使用すれば良いのでしょうか。また、その費用はどれくらいでしょうか。

A11：学生として構内駐車場を利用することができます。ご利用の場合は、申請が必要で、年間駐車料金がかかります。詳細は、入学後にご説明します。

Q12：履修方法や履修資格などについて、個別に相談に乗っていただけますか。

A12：下記までご相談ください。

群馬大学大学院保健学研究科保健学研究・教育センター内

群馬一丸 GP 事務局 (9:00~16:00)

連絡先：Tel・Fax 027-220-8803・8039

メールアドレス：yhakozaki@gunma-u.ac.jp ・gp-kanazawa@gunma-u.ac.jp

【履修証明を受けた後の活躍について】

Q13：履修証明を受けた後、どのような場所で活躍できますか。

A13：この履修証明プログラムの修了生は、各職場において、実習生の指導と新人ナースをはじめとするスタッフに指導的役割を担います。

【その他】

Q14：学習用にパソコン・インターネットは必要ですか。

A14：必須ということはありませんが、パソコン、インターネットの環境があれば便利です。なければ、ご相談ください。

Q15：オフキャンパス・セルフラーニングとはどのようなことをするのですか。

A15：履修生の自主性を引出し、かつ履修生の都合にあわせて受講するという、働きながら学ぶ人のために考案された科目です。履修生は、学外で開催される在宅関連の学会や研修会、講演会、イベント、国際福祉機器展などに参加し、レポートを提出するという内容です。

